

1 小単元 「水害からくらしを守る～〇〇市役所のIさん～」

2 小単元の構想

【こんな子どもたちを（実態）】

本学級の子どもたちは、前小単元「昔を伝えるもの」において、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことを理解することができている。しかし、それらの行事に人々の様々な願いが込められていることを理解することは十分ではない。また、学び方については、資料を根拠に自分の考えを述べる力は身に付いてきている。しかし、複数の資料を比較したり関連付けたりして考えをつくることができる子どもは少ない。そこで、本小単元では、水害など自然災害から市民の安全を守る事業に携わる人々が、「水害から市民の命や財産を守りたい」という願いをもとに、各機関と様々な協力をして対処をしたり、様々な備えをしたりしている努力を根拠として、複数の資料を比較させたり、資料から読み取ったことや考えられることを総合させたりしながら、自分自身の安全を守るための行動や水害への備えについて考え、これからの社会への関わり方や自分の生き方を見直していくことができるようにしたい。

〇 本小単元は、〇〇市役所安全安心課で防災専門官として従事しているIさんを中心に、水害など自然災害から市民の安全を守る事業に携わる人々に焦点を当てて教材化する。

課題

H21年の九州北部豪雨の際に、〇〇市(当時は町)では、市内各地で浸水や冠水が起こるなど、甚大な被害を受け、市民の財産や安全が脅かされた。

克服

Iさんたち安全安心課の職員は、H21年の水害以降、災害に強いひとづくりを実現するために、長い年月をかけ、聞き取り調査や現地調査を行ったり、各自治区と連携したりして、地区ごとの防災カルテや、総合防災マップの改訂に取り組んできた。

結果

H28年度までに、市内全区に自主防災組織が立ち上がった。各区からの防災講座の要請回数が年に60回以上に増加したり、大雨の際の避難所利用者数が増えたりするなど、市民の防災意識が向上している。

水害からくらしを守るために、〇〇市ではだれがどのような働きをしているのか調べよう。



- 〇 水害から人々の安全を守る事業に携わる人々は、関係機関や地域の人々と連携したり、防災への備えを啓発したりしていること各種資料をもとに理解することができる。（知識・技能）
- 〇 水害から人々の安全を守る事業に携わる人々の働きや願いから、水害に対し様々な協力をして対処していることや、今後の水害に対し様々な備えをしていることを考え、表現することができる。（思考・判断・表現）
- 〇 水害から人々の安全を守る事業に携わる人々の働きを調べる活動を通して、気象庁などからの情報や防災情報、地域の地理的環境について関心を深め、自分自身の安全を守るための行動や水害への備えを考えようとするすることができる。（主体的に学習に取り組む態度）

3 小単元計画（全 11 時間）

段階	主な学習活動	教師の主な支援と発問	配時				
つかむ	<p>1 ○○市内で起きている自然災害について調べ、学習問題をつくる。 (1) H21 年に起きた豪雨の際の、○○市の様子や被害状況を調べ、疑問に思ったことを出し合い、学習問題をつくる。</p> <div data-bbox="245 338 1390 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題 水害からくらしを守るために、○○市ではだれがどのような働きをしているのか調べよう。</p> </div> <p>(2) 学習計画を話し合う。</p>	<p>○ H21 年の被害の様子を捉えることができるように、浸水被害の件数や当時の写真などの資料を提示する。</p>	<p>3 ② ①</p>				
さぐる	<p>2 ○○市の水害対策について調べ、水害からくらしを守る働きや備えについて話し合う。 (1) 水害が起きたときの消防・警察・自衛隊・市役所の対処の仕方や水害への備えについて調べる。【行為の追究】</p> <table border="1" data-bbox="204 696 743 1077"> <thead> <tr> <th>水害発生時の対処</th> <th>水害への備え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 消防：救助・捜索 きけんの排除 消防団との連携 警察：危険箇所の交通整理 救助・捜索 自衛隊：救助・捜索 生活支援 市役所①情報を集める 水位観測 災害対策本部の設置 ②情報を伝える 避難情報発信 ③避難所・避難場所開設 </td> <td> まちづくり ・護岸工事 ・ダム建設 人づくり ・自主防災組織の普及 ・総合防災マップ改訂 ・防災カルテ（各地区） ・ヤフーやKBCなど ・メディアとの協定の締結 ・水位観測所新設 ・防災行政無線 ・避難行動要支援者 ・避難支援プランの作成 ・防災訓練（各地区） </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 水害が起きたときの安全を守る働きについて話し合う。【行為の意味の追究】</p> <div data-bbox="196 1189 796 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水位観測所や気象情報を何度も確認し、適切なタイミングで災害情報を出す。</p> </div> <div data-bbox="188 1357 796 1458" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>↓</p> <p>市民に最新の情報を正確に伝えて安全な行動をとってもらうため。</p> </div> <p>(3) 水害を防ぐための備えについて話し合う。【行為の意味の追究】 【願いの追究】</p> <div data-bbox="196 1603 796 1771" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>災害後も各地区と連携し、聴き取りや現地調査、災害図上訓練（DIG）などを行い、調査した結果を防災カルテや総合防災マップに載せる。</p> </div> <div data-bbox="188 1816 796 1928" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>↓</p> <p>市民の防災意識を高めて、市民の大切な財産や命を守りたい。</p> </div>	水害発生時の対処	水害への備え	消防：救助・捜索 きけんの排除 消防団との連携 警察：危険箇所の交通整理 救助・捜索 自衛隊：救助・捜索 生活支援 市役所①情報を集める 水位観測 災害対策本部の設置 ②情報を伝える 避難情報発信 ③避難所・避難場所開設	まちづくり ・護岸工事 ・ダム建設 人づくり ・自主防災組織の普及 ・総合防災マップ改訂 ・防災カルテ（各地区） ・ヤフーやKBCなど ・メディアとの協定の締結 ・水位観測所新設 ・防災行政無線 ・避難行動要支援者 ・避難支援プランの作成 ・防災訓練（各地区）	<p>○ 関係機関がどのように動いているのかを捉えさせるために、各関係機関の働きをまとめる活動を設定する。</p> <div data-bbox="834 696 1398 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水害が起きたときに、市役所の I さんたちや、消防・警察・自衛隊などの関係機関はどのようなことをしていますか。</p> </div> <div data-bbox="834 875 1398 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水害に備えて、市役所の I さんたちや、それぞれの関係機関はどのようなことをしていますか。</p> </div> <p>○ 災害対策本部を中心として連携していることを捉えさせるために、関係機関の動きを図化する活動を設定する。</p> <p>○ 水害時に市民一人一人が安全な行動をとり、命を守る行動ができるようにしていることを捉えるために、災害情報を出すまでに推移観測所や気象情報の確認の回数を提示する。</p> <div data-bbox="834 1357 1382 1469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I さんたちが何度も川の水位を確認するのはなぜでしょう。</p> </div> <p>○ 安全安心課が自治区と協力し、次の災害に備えていることを捉えさせるために、総合防災マップや防災カルテの作成の経緯が分かる資料を提示する。</p> <div data-bbox="834 1626 1382 1827" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>次の水害に備えて様々な対策をしているのに、どうして I さんたちは何度も現地に行って総合防災マップを作り替えているのですか。</p> </div>	<p>6 ④ ① ①</p>
水害発生時の対処	水害への備え						
消防：救助・捜索 きけんの排除 消防団との連携 警察：危険箇所の交通整理 救助・捜索 自衛隊：救助・捜索 生活支援 市役所①情報を集める 水位観測 災害対策本部の設置 ②情報を伝える 避難情報発信 ③避難所・避難場所開設	まちづくり ・護岸工事 ・ダム建設 人づくり ・自主防災組織の普及 ・総合防災マップ改訂 ・防災カルテ（各地区） ・ヤフーやKBCなど ・メディアとの協定の締結 ・水位観測所新設 ・防災行政無線 ・避難行動要支援者 ・避難支援プランの作成 ・防災訓練（各地区）						

さ ぐ る	<p>3 市役所の安全安心課のIさんたちの価値について話し合い、本小单元についてまとめる。 【社会の変化の追究】 【人物の価値の追究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨のときに、市内で被害が出ていないか、どこに避難すればよいかをいち早く知ることができるからありがたい。 ・市内の各区と何度も話し合いや現地での調査をしているから、安全に避難できるのでありがたい。 	<p>○ Iさんたち様々な対策を行った結果、水害の被害が少なくなっていることを捉えさせるために、H21年とH30年の被害の様子を比較して提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水害発生時だけでなく、水害後も総合防災マップを作り替えるなど、様々な対策をして市民の大切な財産や命を守っているIさんたちをどう思いますか。</p> </div>	1 本時
い か す	<p>4 これからの自分と社会との関わりについて考え、話し合う。 【自己の生き方の追究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から気象情報をチェックしたり、テレビのdデータなどで、市からのお知らせが来ていないか確認したりするようにしていきたい。 ・大雨が降ったときに、どうするかを家族と話をし、安全な過ごし方を考えていきたい。 ・自分が住んでいる地区のどこに危険箇所があるのかを確認したい。 ・水害でライフラインがストップしたときを考えて、水や食料などの備えをしていきたい。 	<p>○ 日ごろからできる備えや避難の仕方を考えることができるように、防災に関する資料を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水害から自分の身を守るために、どのような備えをしていきますか。</p> </div>	1

4 本時

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 4年〇組教室において

5 本時のねらい

- 水害への様々な備えや対処をしている安全安心課のIさんたちの働きの価値を話し合う活動を通して、自分自身の安全を守るための行動や水害への備えを考えようとする事ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】
- 安全安心課のIさんたちが緊急時だけでなく、総合防災マップの改訂など、様々な備えを行っていることの価値を考え、表現することができる。
【思考・判断・表現】

6 本時の展開

段階	主な学習活動	教師の主な支援と発問
導 入	1 前時学習をふり返り、本時学習のめあてについて話し合う。	○ 水害に対する備えについての追究意欲をもたせるためにH21年とH30年の一日最大雨量と大雨の被害状況を比較して提示する。
	めあて 〇〇市はなぜ、被害を少なくすることができたのか話し合おう。	
展 開	2 被害を少なくできた理由について話し合う。 (1) 被害を少なくできた理由を、今までに調べてきた対処や備えから出し合う。 【社会の変化の追究】	○ 被害を少なくできた理由を話し合わせるために、市役所が行ってきた対処や備えについての資料を提示する。 〇〇市はどうしてH21年の時に比べて被害を少なくすることができたのでしょうか。
	・諸機関等(ヤフーやKBC)との協定の締結 ・水位観測所の新設(轟橋) ・避難勧告等発令支援システム・マニュアル ・防災行政無線 【早めに危険を知らせる】	・自主防災組織 ・避難行動要支援者避難支援プラン ・〇〇市防災訓練 【市民が自分たちで避難できるようにしている】
	・〇〇市総合防災マップ 【市民にどこが危険なのかを知らせている】	・〇〇市のダムの建設 ・〇〇市の護岸工事 【水があふれないようにしている】
	(2)安全安心課のIさんたちの働きの価値について話し合う。 【人物の価値の追究】 ・大雨のときに、市内で被害が出ていないか、どこに避難すればよいかをいち早く知ることができるからありがたい。 ・市内の各区と何度も話し合いや現地での調査をしているから、安全に避難できるのでありがたい。	○ Iさんたちの働きの価値を捉えさせるために、総合防災マップを作成するまでに安全安心課が行った聞き取りや現地調査の回数、作成に要した時間等を提示する。 水害発生時だけでなく、水害後も総合防災マップを作り替えるなど、様々な対策をして市民の大切な財産や命を守っているIさんたちをどう思いますか。
(3) 〇〇市が被害を少なくするために行った備えについてのまとめをする。	○ 本時学習をまとめることができるように、板書を使って、本時学習をふり返る。	
	まとめ 水害が起きた時のことを考えて、Iさんたちが様々な備えをしていたから、被害を少なくすることができた。	
終 末	3 自助の必要性について話し合う。 ・自分の判断で行動して助かった人の方が多いことが分かった。 ・自分の安全をどのように守るのかを考えておくことが大切だ。	○ 公助や共助には限界があることを捉えさせるために、IさんのインタビューVTRを提示する。